

保存版

袋井市

洪水ハザードマップ ガイドブック



2019年3月

1. 袋井市の水害リスク（全体説明）	1
2. 避難の方法	3
1 災害に対する心得	
2 避難準備から避難するまで	
3. 避難の心得	7
1 避難時の留意点	
2 避難のための事前準備	
4. 洪水ハザードマップの見方	11
1 洪水ハザードマップの作成方法	
2 洪水ハザードマップをより深く知るための情報	
3 早期の立退き避難が必要な区域	
5. 情報の入手方法	17
1 避難情報の入手方法	
2 雨量や河川水位情報の入手方法	
6. 大雨がもたらす災害	19
1 土砂災害	
7. 浸水継続時間図	21
8. 水位・雨量観測地点	27
9. 雨の強さと降り方	30
10. 袋井市の地形と災害特性	31

袋井市洪水ハザードマップについてのお問い合わせ先

浸水想定に関すること

袋井市都市建設部建設課

袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL 0538-44-3166（治水対策室） / 0538-44-3130（管理係）

避難に関すること

袋井市危機管理部危機管理課

袋井市国本2907番地

TEL 0538-86-3701

1. 袋井市の水害リスク

※このマップは太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川が氾濫した場合の浸水範囲と、その他の河川で浸水の恐れのある範囲や、土砂災害の危険区域を包括的に表しています。

実際の豪雨時に河川は決壊するかどうか、決壊するのならばどの河川が、いつ決壊するのか、など多くのシナリオが考えられ、将来の洪水災害は複雑で不確定なものです。

要配慮者利用施設の管理者や利用者の皆さんは、事前に浸水深などを確認し、避難方法を話し合っておきましよう。

袋井市 要配慮者利用施設 検索

施設や浸水深などを確認できます。

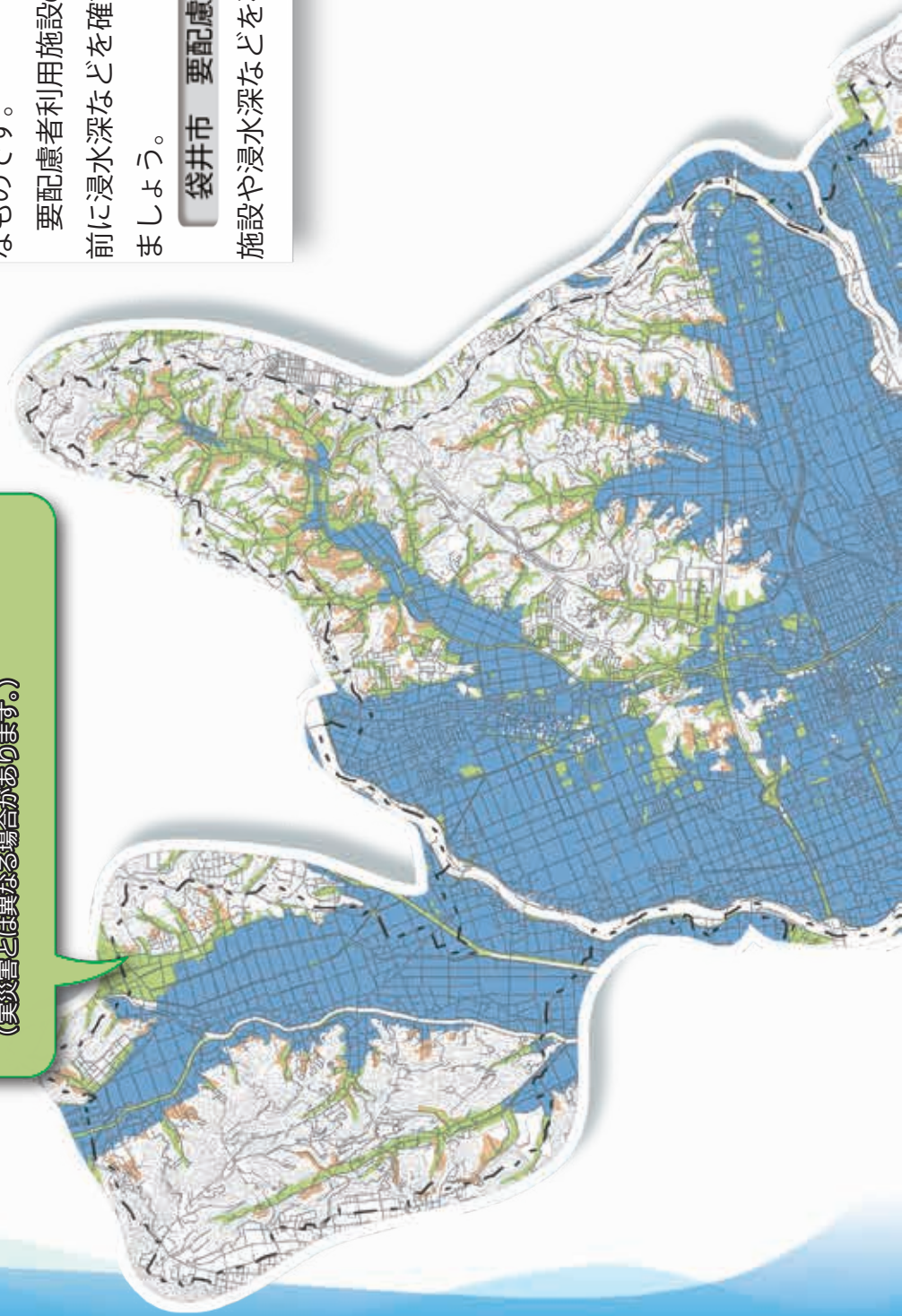
想定はないが

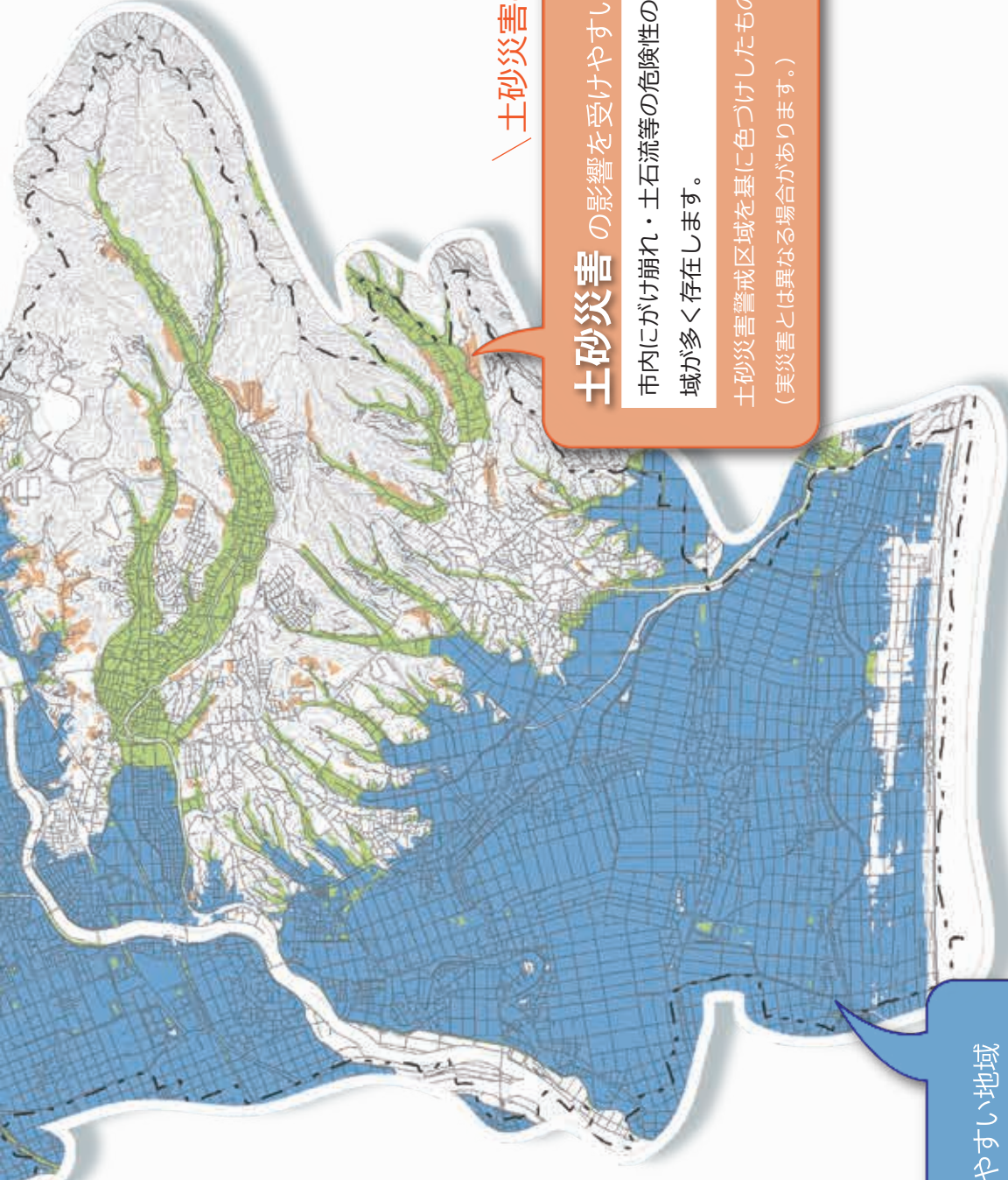
低地の地域

市内には多くの河川があります。この地域は河川氾濫などでできた低地です。浸水想定はありませんが、浸水の危険性があります。

自然地形分類図の谷底低地、氾濫原低地、湿地、三角州低地、後背低地、旧河道、旧水部を色付けたものです。

(実災害とは異なる場合があります。)





／ 洪水の想定 ／

河川氾濫 の影響を受けやすい地域
 太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川が
 氾濫した場合、深いところで5m以上の浸水
 が予測されています。
 太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川の
 浸水想定区域図を基に色付けしたものです。
 (実災害とは異なる場合があります。)

／ 土砂災害の想定 ／

土砂災害 の影響を受けやすい地域
 市内にがけ崩れ・土石流等の危険性の高い地
 域が多く存在します。
 土砂災害警戒区域を基に色づけしたものです。
 (実災害とは異なる場合があります。)

洪水ハザードマップはパソコンでも確認できます。

袋井市 洪水ハザードマップ

検索

2. 避難の方法

1 災害に対する心得

最重要

自分の命を守るのは自分です。

自分だけは大丈夫と思わず、災害への心構えをしてください。

「水害が起きるかもしれない」 という前提で行動する

「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われますが、最近は「災害は忘れぬうちにやってくる」と言えるほど雨の降り方が変わりつつあります。

考えられる状況と地域の特性から 水害をイメージする

水害の現場では、「まさかここまで水がくるとは思わなかった…」という言葉をよく聞きます。雨が降りだしてから、その先に起こるかもしれない水害の状況は、地域の特性によって様々です。

避難するか？とどまるか？ 命を優先し、最善をつくす

浸水が始まる前に安全な避難場所に避難することは重要なことですが、浸水の中を無理に避難することは非常に危険です。状況に応じて適切に行動することが大切です。



自分の身は 自分で守る

災害による犠牲者をなくすには、「いざというとき、自分の身を守るのは自分自身である」という基本認識を持つことが重要です。

情報は 自分で取りに行く

自らいち早く情報を得ることが大切です。テレビ・ラジオ・インターネット隣近所の声かけなど、様々な方法で情報が発信されますので、最新の情報に注意するように心がけましょう。

想定に とらわれない

本ガイドブックの各マップは、ある一定の条件やシナリオを想定して作成されています。実際に発生する水害は、想定どおりになるとは限りません。相手は自然で、想定外のこともあり得ることを理解しましょう。

2. 避難の方法

2 避難準備から避難するまで

 **正しい避難の流れを知り、自分で判断できるようにしましょう。**

「自分だけは大丈夫」「まだ平気」「たいしたことにならない（はず）」といった判断が一番危険です。避難の判断に必要な情報や正しい避難のしかたについて知り、自ら考え行動できるようになりましょう。洪水ハザードマップのほか事前に、土砂災害、津波、ため池ハザードマップも確認しましょう。

事前の準備：避難先を想定しておく



住んでいる場所の特徴を確認しよう

● 洪水の危険性 ●

- ・ 浸水する深さ () m
- ・ 自宅等の階数 () 階
- ・ 指定緊急避難場所や近くの安全な場所への距離 () m

知っておこう！

- 500m歩くのにかかる時間
【目安】・ 大人：約 6～8分
・ 高齢者：約 10分

● 土砂災害の危険性 ●

- ・ 住んでいる場所が土砂災害警戒区域等に (入っている ・ 入っていない)
- ・ 避難経路が土砂災害警戒区域等に (入っている ・ 入っていない)

いる場所とその時の状況で避難行動は変わります

避難場所を確認しておこう

指定緊急避難場所への「立退き避難」

【CHECK】

- 平屋（1階建て）が浸水するとき
- 自宅の2階以上まで浸水するとき
- 長時間の深い浸水が予想されるとき
- 家屋倒壊等の恐れのある区域に入っているとき
- 土砂災害警戒区域等に入っているとき

- ・ 避難の原則は「立退き避難」
- ・ 事前の準備と早めの判断と行動が必要です
- ・ 親戚や知人宅など、安全な場所への避難も有効です

近隣の安全な場所への「立退き避難」

【CHECK】

- 浸水が始まっており指定緊急避難場所への移動が危険なとき

家の中の安全な場所で「屋内安全確保（垂直避難）」

【CHECK】

- 外へ出る方がかえって危険なとき

【安全な場所の例】

- ・ 上の階
- ・ 崖から離れた部屋

- ・ 夜間や激しい降雨で避難路がわかりにくい
- ・ 浸水が始まっており外出が危険なとき

いつ避難するか判断材料に！

市が出す避難情報

避難準備・高齢者等避難開始 警戒レベル3

- **避難に時間を要する方** ⇒ 避難を開始してください。
高齢者の方、障害のある方、乳幼児などとその支援者は避難を開始しましょう。
- **その他の方** ⇒ いつでも避難できるように準備してください。
避難の準備を整え「防災気象情報」や「水位情報」等に注意し、危険だと思ったら早めに避難してください。

※突発的な災害では、避難勧告等の発令が間に合わないことがあります。危険を感じたら避難行動をとってください。



浸水時には、普段では気づかない危険があります。



◆ 浸水が浅くても流れが速い場合は歩くのが危険です。



◆ 数十センチの浸水でも水圧でドアが開かなくなります。



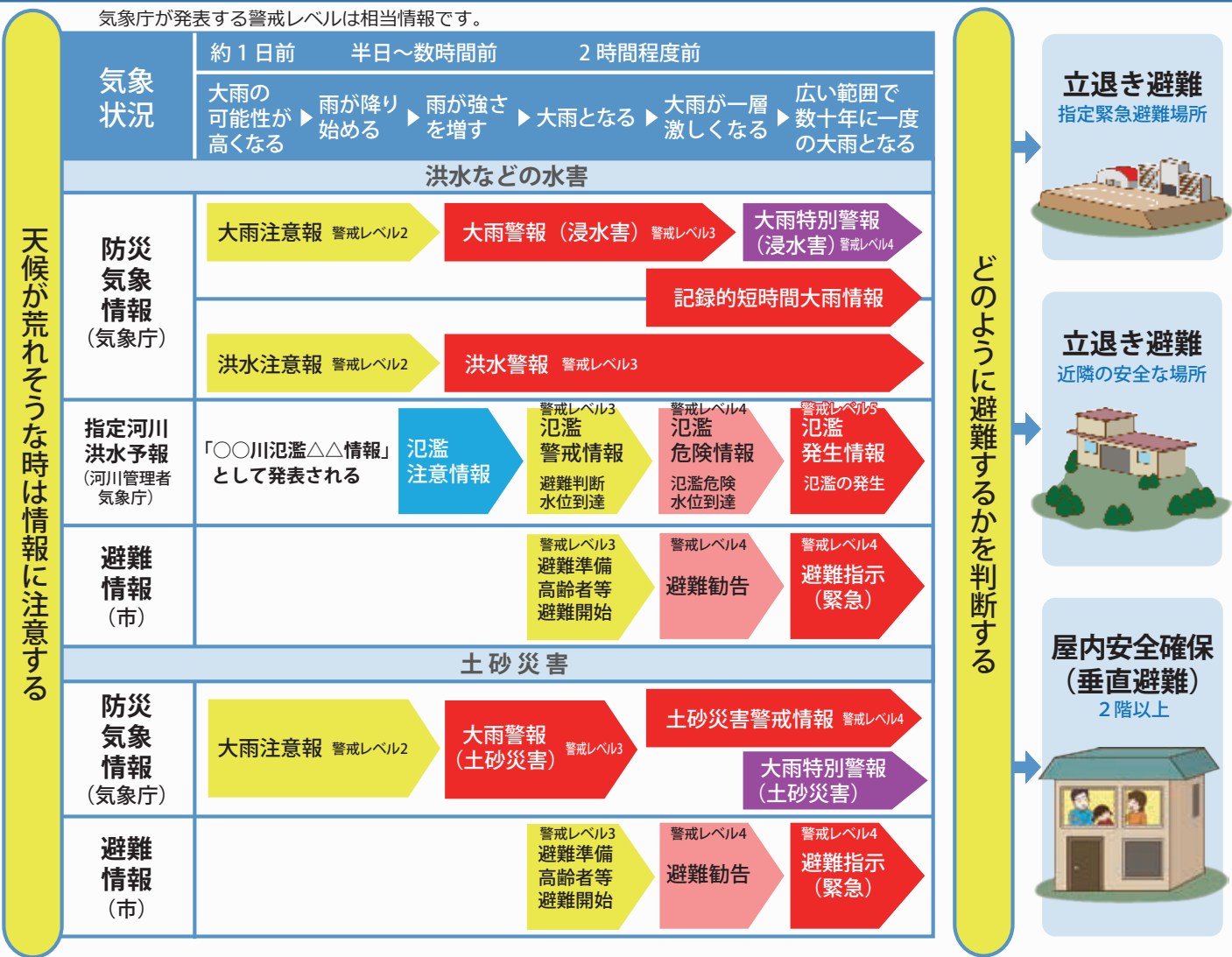
◆ 高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

情報収集し、避難の判断をする



避難する

気象庁が発表する警戒レベルは相当情報です。



避難勧告 警戒レベル4 (安全な場所へ避難)

避難指示 (緊急) 警戒レベル4 (安全な場所へ避難)

● 指定緊急避難場所へ速やかに避難してください。
指定緊急避難場所への避難が危険な場合は、「近くの安全な場所」または「自宅内のより安全な場所」へ避難しましょう。

● すぐに (緊急に) 避難してください。
指定緊急避難場所への避難が危険な場合は、「近くの安全な場所」または「自宅内のより安全な場所」へ避難しましょう。

※急激な水位の上昇のおそれがある川沿いの方、土砂災害警戒区域等の方は早めの避難をしてください。

3. 避難の心得

1 避難時の留意点

 どこに逃げるのか事前の確認が大切です。
安全に落ち着いて避難できるよう準備しましょう。

1 安全な避難経路の確認

浸水に対して安全な避難先とルートを平時から家族や地域で確認しておきましょう。



2 正確な情報収集と早めの避難

浸水してからの自宅外避難は危険です。テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。



3 動きやすい服装と非常持出品を持って避難

避難時の事故防止のため、動きやすい服装で、できるだけ家族や隣近所等とともに避難しましょう。

持ち物はリュックサックで、手は自由に、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。



4 はん濫水に対する知識

はん濫水は勢いが強く、ひざくらいの水深があると大人でも歩くのが困難で危険です。無理に移動しないで、屋内安全確保（垂直避難）や近所に避難する判断も大切です。水に立ち向かうのではなく、水から逃げましょう。人も車も簡単に流されます。一番重要なのは、流れる水に近づかないことです。



5 車で避難する時の注意

浸水しているアンダーパスで動けなくなる事例や川沿いの道路で川に転落する例など、車での避難中に命を落とす例が多数発生しています。一般的に浸水深が30cm以上では車の走行が困難となります。



6 浸水が生じている場合や避難が遅れた場合

避難のための時間を確保できない場合や、予定された指定緊急避難場所等に避難することが難しいと判断される場合は、自宅の2階以上など安全な建物へ避難（垂直避難）してください。



3. 避難の心得

2 避難のための事前準備

 災害が発生する前に『避難』について家族で話し合っておきましょう。
その時では逃げ遅れてしまう危険性があります。

土砂災害、洪水災害時の避難について、早い段階での避難先と逃げ遅れたときの避難先を検討しておきましょう。

① 自宅などの危険性の確認

洪水ハザードマップで自宅（または会社・学校など）の浸水や土砂災害の危険性を確認しましょう。

② 自宅にとどまれるかの確認

早期の立退き避難が必要な区域（P.15 参照）や土砂災害の危険性のある区域では立退き避難が必要です。

③ 避難先の確認

早い段階での避難先・逃げ遅れたときの避難先を確認しましょう。

早い段階での避難先

早い段階で安全な場所に避難することが大原則です。

たとえば…
いつ?

- 避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告などを聞いた場合
- 事前に大型台風や大雨が予測される場合
- 夜中に雨が降り続くと予想される場合
- 予兆現象などいつもと違うと感じた場合



記入欄

いつ?

どこへ?

たとえば…
どこへ?

- 歩いていける最寄の指定緊急避難場所
- 親戚・友人宅など、市内に限らずより安全な場所

逃げ遅れたときの避難先

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況でもっとも安全と思われる場所で身を守りましょう。

たとえば…
いつ?

- 逃げ遅れてしまった場合
- 浸水や土砂が迫ってきた場合



記入欄

いつ?

どこへ?

たとえば…
どこへ?

- 最寄の高くて丈夫な建物や高台
- 自宅の高いところ、斜面から離れた部屋
- 指定緊急避難場所に限らず、駆け込めるところ

👉 自宅外に避難する際の心得 非常持出品を準備しておきましょう。

洪水に備えて指定緊急避難場所に避難するときは、非常持出品や、各自必要なものを持って避難してください。非常持出袋には、両手のあくリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。自らが十分な準備をすると安心です。

- ①非常持出袋があまりにも重いと避難行動に支障がでるので、重すぎる場合は中身を減らしましょう。
- ②水を注ぐだけで簡単に食べられる、比較的軽い乾燥食品を用意しましょう。
- ③各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

check 非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

<input type="checkbox"/> 携帯電話充電器	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 非常食（カンパンなど）・飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備の電池も）
<input type="checkbox"/> 生活用品（ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュペーパー、ビニール袋など）			
<input type="checkbox"/> ろうそく（太くて安定のよいもの）	<input type="checkbox"/> 衣類（下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど）		
<input type="checkbox"/> 救急薬品（ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜きなど）			

check 家族構成によって必要なもの

<input type="checkbox"/> ミルク	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 常備薬（持病がある方は忘れずに）
<input type="checkbox"/> 高齢者や障がい者のための準備品（介護用品など）			

check 避難時の必需品

<input type="checkbox"/> 雨具（カッパ）	<input type="checkbox"/> 手袋	<input type="checkbox"/> ヘルメット（防災ずきん）
<input type="checkbox"/> 袋井市洪水ハザードマップガイドブック（この冊子）		<input type="checkbox"/> 貴重品（預金通帳、健康保険証、免許証、住所録のコピーなど）

check あると便利なもの

<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋	<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 割りばし	<input type="checkbox"/> 床に敷くシート
--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

👉 家族が離ればなれになったときの 集合場所や連絡方法を考えておきましょう。

<p>家族で決めた集合場所</p>	<p>家族・親戚・知人の緊急連絡先</p> <p>名 前： _____ メモ</p> <p>電 話 番 号： _____</p> <p>名 前： _____ メモ</p> <p>電 話 番 号： _____</p> <p>名 前： _____ メモ</p> <p>電 話 番 号： _____</p> <p>名 前： _____ メモ</p> <p>電 話 番 号： _____</p>
<p>家族で決めた連絡方法</p>	

4. 洪水ハザードマップの見方


1 洪水ハザードマップの作成方法

 洪水ハザードマップの作成条件・方法について説明しています。

① 洪水ハザードマップの対象降雨

「袋井市洪水ハザードマップ」は、太田川流域で想定される最大規模の降雨（※）における浸水状況をシミュレーションした結果（静岡県が作成した洪水浸水想定区域図）を基に作成しています。

（※）想定される最大規模の降雨とは、日本を降雨の特性が似ている 15 の地域に分け、それぞれの地域において観測された最大の降雨量により設定したものです。

- 太田川流域では 24 時間で 629.5mm となっています。これは従来の洪水ハザードマップの雨量（24 時間で 355.1mm）の約 1.8 倍です。
- このほか、静岡県内の洪水浸水想定区域図をインターネットで確認することができます。
- 袋井市周辺で過去に発生した最大の降雨量としては、静岡地方気象台で七夕豪雨時（昭和 49 年 7 月）に、24 時間で 508.0mm が観測されています。また、全国では 24 時間で 1,000mm を超える降雨も記録されています。（徳島県那賀町 日早観測所 24 時間 1,114mm）
- 平成 30 年 7 月豪雨を初め、近年、毎年のように、その地域における過去の記録を上回る豪雨が発生しており袋井市でも『これまでに経験の無い降雨』が発生する可能性が十分にあります。

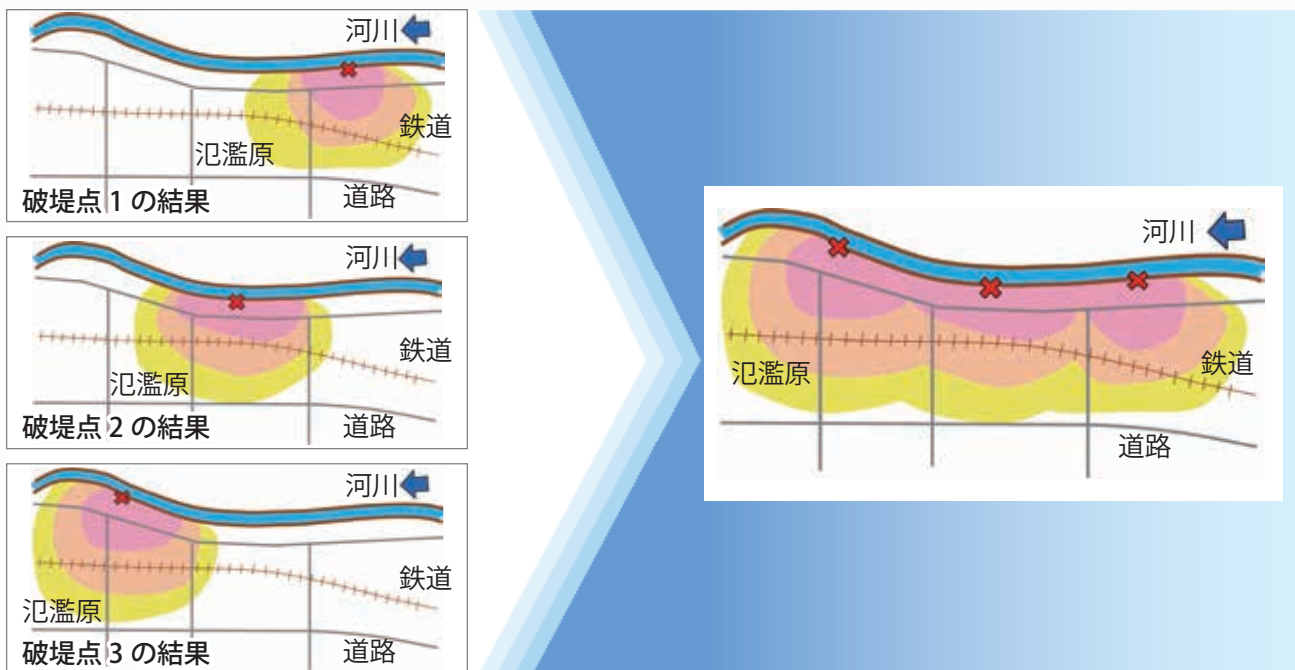
	24 時間降水量 (最大雨量発生地点)	観測史上 1 位を更新した 地点数
平成 30 年 7 月豪雨	691.5mm (高知県安芸郡馬路村)	全国 77 地点
平成 29 年 7 月 九州北部豪雨	545.0mm (福岡県朝倉市)	全国 12 地点
平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨	551.0mm (栃木県日光市)	全国 16 地点

出典：気象庁ホームページ「災害をもたらした気象事例」より

② 洪水ハザードマップの作成方法

1 洪水浸水想定区域図（静岡県作成）

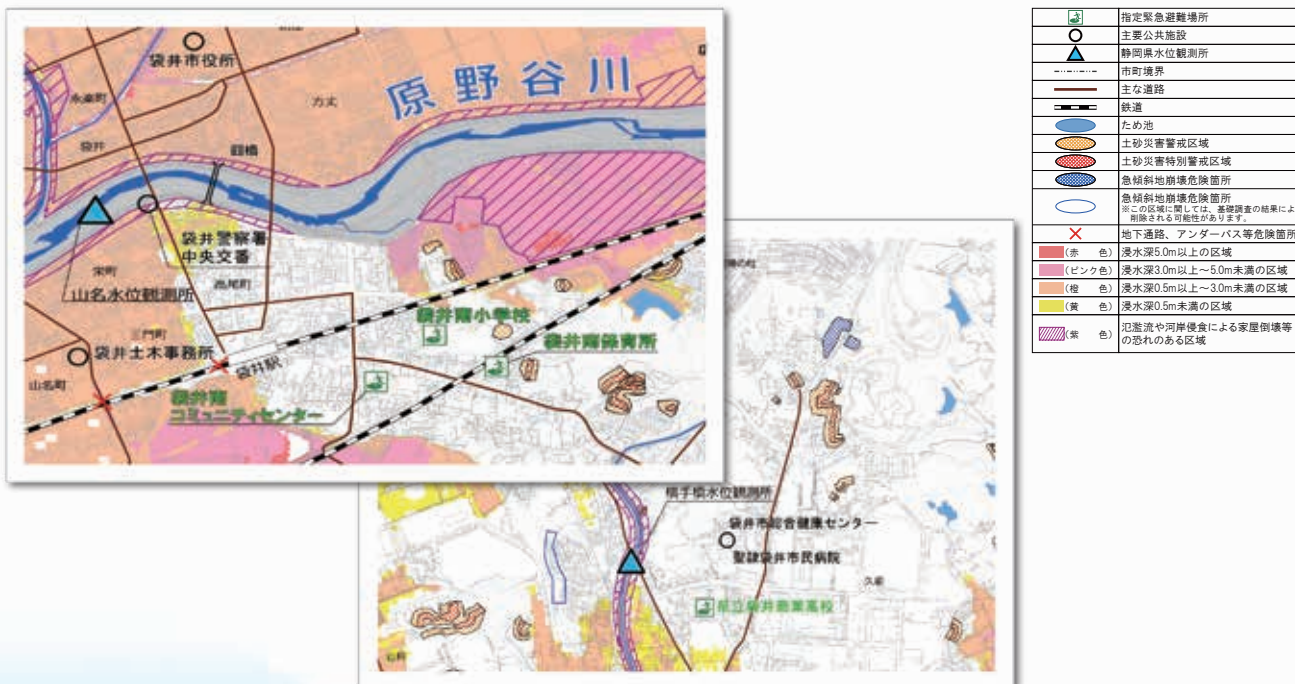
想定される最大規模の降雨に対し、対象河川ごとに複数の破堤地点を想定して、氾濫状況をシミュレーションし、各破堤地点の最大浸水深を重ね合わせて作成しています。



このため、図示した全範囲が、一度の洪水で浸水するものではありません。この図は、対象河川が持つ洪水のリスクがどの程度あるかを示しています。

2 洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域図に指定緊急避難場所などの避難に関する情報を掲載したものです。



※洪水浸水想定区域図は実災害と異なる場合があります。

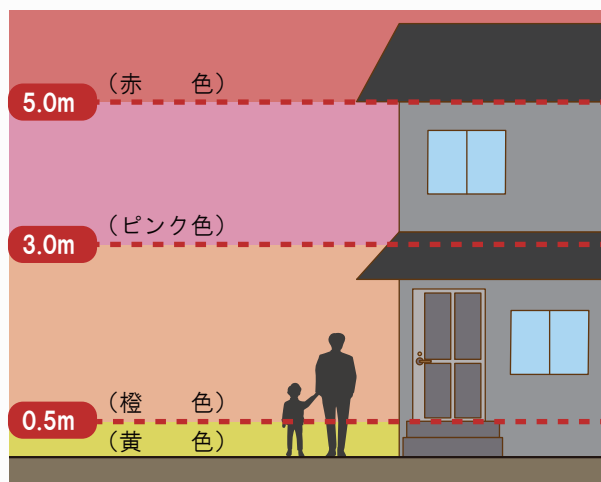
4. 洪水ハザードマップの見方

2 洪水ハザードマップをより深く知るための情報

 洪水ハザードマップの内容を理解し
日頃から避難先などを家族で話し合っておきましょう。

解説⑦ 最大浸水深のランク区分について

洪水時の浸水深のランク区分は以下の意味を持っています。



5.0m：一般的な家屋の2階が水没する高さになります。

3.0m：一般的な家屋の2階床下高に相当します。これを超えると2階に避難していても危険となる恐れがあります。

0.5m：一般的な家屋の1階床高に相当します。これを超えると床上浸水となる可能性があります。

解説⑧ 家屋倒壊等の恐れのある区域について

堤防決壊等による氾濫流が家屋を押し流したり、河道内の洪水流により河岸が侵食されることによって、家屋が倒壊する恐れのある区域を示しています。

氾濫流による家屋倒壊の範囲は、数値シミュレーションによって得られた最大の水深や流速に対して標準的な木造2階建て家屋の構造、重量などを対象として試算したものです。

河岸侵食による家屋倒壊の範囲は、過去に全国で発生した河岸侵食幅の実績を基に推算したものです。

解説⑨ 浸水継続時間について

浸水が長期にわたると想定される地域で立退き避難しない場合、以下のような問題が生じる可能性があるため注意が必要です。

- 浸水深が深い場合、家から外へ出られない。
- 備蓄していても水や食料等がなくなる。
- 衛生環境が悪化する。
- 病人が出た場合に対応が難しい。
- 定期的な診療を受けている人は、診療を受けられない。
- 電気が止まることにより、情報を得ることができなくなる。
- 電気、ガス、水道が止まることにより生活環境が悪化する。



水位観測所の水位について

袋井市内の主な河川には静岡県が水位計を設置し、インターネットによりリアルタイムで観測結果を公表しています。また主な観測所では、水位に応じた危険の程度が分かるようになっていて、河川水位と発令される避難情報の関係は下図のようになっています。

(水位計の位置は、本ガイドブックのP27をご覧ください)

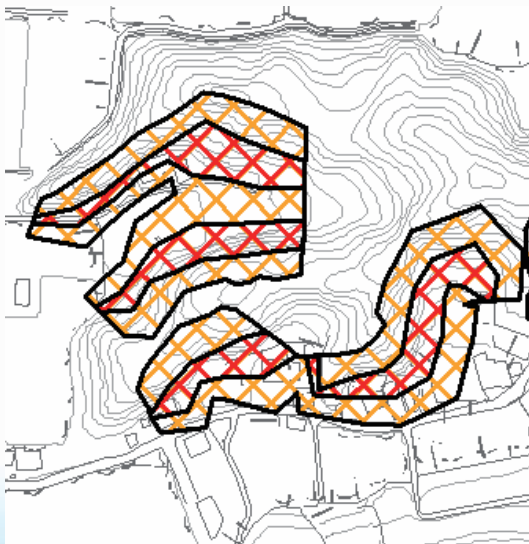
川の水位	袋井市が発令する情報	発令基準など
▼ 氾濫発生	▲避難指示(緊急)の発令▲ 警戒レベル4	堤防天端高に達する恐れがある場合 または異常な漏水や亀裂・すべりなどにより決壊の恐れが高まった場合に発令
▼ 氾濫危険水位	▲避難勧告の発令▲ 警戒レベル4	氾濫危険水位に達し、さらに上昇する恐れがある場合に発令
▼ 避難判断水位	▲避難準備・高齢者等避難開始の発令▲ 警戒レベル3	避難判断水位に達し、さらに上昇する恐れがある場合に発令
▼ 氾濫注意水位		



土砂災害警戒区域等について

土砂災害の警戒すべき区域は、県が土砂災害警戒区域・特別警戒区域として指定しています。

土砂災害の警戒区域・特別警戒区域は、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」がありますが、マップには上記の種別はなく、区域のみを示しています。なお、袋井市内には、「地すべり」による指定区域はありません。



【土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）】

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域です。

【土砂災害警戒区域（イエローゾーン）】

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域です。

4. 洪水ハザードマップの見方

3 早期の立退き避難が必要な区域

 袋井市では、以下の3つの恐れのある地区を「早期立退き避難が必要な区域」として、特に注意を払うようにしています。

平成 27 年 9 月関東東北豪雨による堤防の決壊や平成 29 年 7 月九州北部豪雨など洪水氾濫により家屋が倒壊したり周囲が浸水し、身動きが取れなくなる事例もあります。川の近くでは家屋が流されたり、低い土地では 3 日以上浸水したりする可能性があります。①～③に該当する場合は、2 階以上の避難ではなく、別の安全な場所へ避難してください。

①『家屋倒壊等の恐れのある区域』

②『浸水深が 3 m 以上となる恐れのある区域』

「家屋倒壊等の恐れのある区域」「浸水深が 3m 以上となる恐れのある区域」については、洪水ハザードマップに掲載されています。

③『浸水が 3 日以上継続する恐れのある区域』

「浸水が 3 日以上継続する恐れのある区域」については、本ガイドブックの P21 ～ P26 に掲載している「浸水継続時間図」で確認することができます。

一 日 前 プロ ジェ ク ト

濁流のすさまじさにあ然 ～家の底の土をさらっていった～

宇治市 70代 男性 地区役員

私は地域の防災対策メンバーです。水に浸かったところの見回りをしてる最中に、ひとり住まいの姉から携帯に「助けて！今、家の前に濁流が押し寄せてきてん」と悲鳴に似た声が飛び込んできました。

急いで車に乗って向かうと、道は濁流でおおわれ、とても車を運転できる状態ではありませんでしたので、車を放置して歩いて行きました。

私の姉の家はコノ字のかたちに 8 軒並んだ通りのいちばん奥まったところにあります。家の中は床上浸水程度でしたが、高台にあるお寺の表参道からダーッと流れてきた濁流が、路地にダーンと集まったと

いう感じ。2メートルほどのコンクリートの壁に囲まれていたために、行く手をはばまれた濁流が渦を巻いて家の底の土を全部持って行ってしまい、家は建っているけど、土が何もないという状態になってしまったのです。隣のお宅にはウォーッと2階近くまで土砂が入り込んでいました。

高台にあるお寺の表参道から水が流れて来るなんて、誰も予想してなかった。だから、その地域の人々のショックは大きかったと思います。

出典：内閣府ホームページ「一 日 前 プロ ジェ ク ト 前線による大雨（平成 24 年 8 月）」より




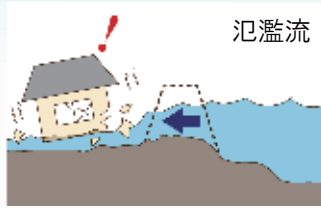
袋井市が設定している「早期立退き避難が必要な区域」

① 氾濫流や河岸侵食による

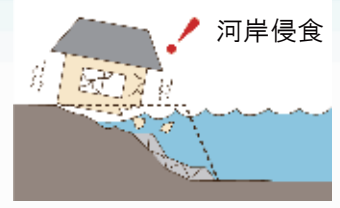
家屋倒壊等の恐れのある区域

堤防決壊に伴う激しい水流により木造家屋が倒壊したり、川の激しい流れにより堤防や地盤が削られると想定される区域

マップ上の表示
 (紫色)



宮城県栗原市 (水害レポート2015より)




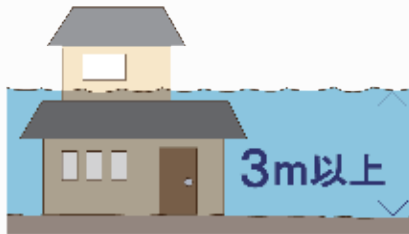
福岡県朝倉市 (水害レポート2017より)

② 浸水深が3m以上となる

恐れのある区域

一般的な家屋の2階床上以上が浸水すると想定される区域

マップ上の表示
 (赤色)
 (ピンク色)




和歌山県田辺市 (水害レポート2015より)

③ 浸水が3日以上継続する

恐れのある区域

浸水深 50cm 以上が 3 日以上続き、孤立する恐れのある区域

マップ上の表示
 (緑色)



秋田県大仙市 (水害レポート2011より)

一日前プロジェクト

前もって避難の方向を決めていた ～山崩れに迷わず避難、命助かる～

宇部市 40代 男性 行政職

あるお宅の話なのですが、ご夫婦でお住まいで、お昼ごろお膳にご飯とおかずを並べて、「さあ、ご飯食べよう」って言っていたら、山の方で音がしたんですね、ゴーンゴーンって。「あれ?何でなんだろう?」と思って見たら、まさに山が崩れてきていて、土石流がダーンと押し寄せてきていたのです。

で、「こりゃいけん」と思って、ご主人はステテコとランニング一枚だったんですけど、パッとシャツをつかんで、奥さんと一緒に道の無い裏山に逃げ込んだんですよ。「何でそっちに逃げたんですか」って聞いたら、「家を建てた時に、何かあったらどこに逃げるか?ひとつは裏山もあるな」とご夫婦で話し合っていたとのこと。

道ばたに車を置いていましたが、そこは土石流の流れる方向にありました。もし道の方に逃げていたら、絶対命はなかったと思いますよ。

今自分がどんなところに住んでいて、どういう危険性があるのか、過去に地域でどんなことがあったのかなどをそれぞれが学んでおけば、そのために何を備えるか、どこに逃げるのかを具体的に考えていくことができますよね。大切なのは、具体的に考えるということと自分の身は自分で守るという姿勢だと思います。



出典：内閣府ホームページ「一日前プロジェクト 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (平成 21 年 7 月)」より

5. 情報の入手方法

1 避難情報の入手方法

 **情報は自ら取得し、最新の情報を入手することが大切です。**

洪水災害や土砂災害の危険が近づいているときは様々な情報が発信されています。

しかし様々な要因で、情報があなたの手元に届きにくくなる場合があります。

- ◆ 暴風雨の中で雨戸を閉めきって寝ていたら・・・
- ◆ テレビ・ラジオをつけていなかったら・・・
- ◆ 停電だったら・・・

情報をただ待つだけでは、いつの間にか状況が悪くなり、避難のタイミングを逃してしまう恐れがあります。災害が発生しそうなときには、自ら情報を収集し、周りの状況に注意するよう心がけましょう。

台風の接近や低気圧などによる大雨が情報が伝わってくるのを待つだけでなく

積極的に
情報収集！



テレビ・ラジオ

ホームページ
スマートフォン向けアプリ

メローねっと（メール）
緊急速報メール

同報無線
（防災行政無線）



メールで受け取る

▶ 袋井市情報配信サービス メローねっと

袋井市の防災・防犯などの情報を登録した携帯電話やパソコンにメールで配信します。

登録方法

右のQRコードからアクセスし、メールアドレスへ空メール（件名・本文は不要です。）を送信してください。



▶ 緊急速報メール

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。

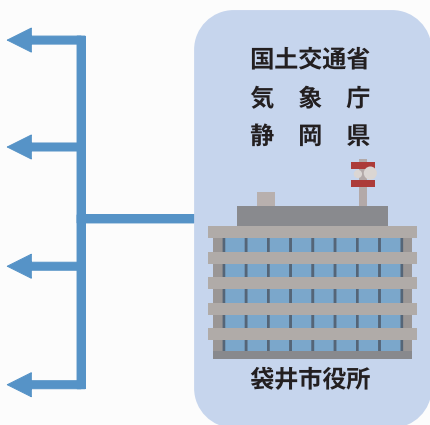
登録方法

設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社へお問合せください。

2 雨量や河川水位情報の入手方法

情報先	インターネットアクセス	入手できる情報
気象庁ホームページ	https://www.jma.go.jp/jma/index.html 	中小河川の洪水被害や土砂災害発生の危険度
気象庁 / 静岡気象台 (PC、スマートフォン用)	 https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/	天気予報 地震・津波の情報 注意報・警報など
国土交通省 / 川の防災情報 (PC、スマートフォン用)	https://www.river.go.jp 	全国の雨量、洪水予報 注意報・警報など
国土交通省 / 防災情報提供センター (PC、スマートフォン用)	 http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/	リアルタイム雨量など
静岡県 / サイポスレーダー (PC、スマートフォン用)	http://sipos.pref.shizuoka.jp/ 	雨量、河川水位 ライブカメラ 注意報・警報など

予想されるときには
自ら情報に注意しましょう。



テレビで調べる

▶データ放送

データ放送に対応しているテレビでは「dボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。



スマートフォンアプリで受け取る

▶Yahoo! 防災速報

台風の接近や避難場所の開設状況などの緊急情報を配信します。

登録方法

<https://emg.yahoo.co.jp>

アプリをインストールして、地域を「袋井市」に設定してください。

下のQRコードからもアクセスできます。

利用方法については、Yahoo! 防災速報ホームページをご確認ください。

iPhone 向け
(App Store)



Android 向け
(Google Play)



▶NHK ニュース・防災

台風の進路予想や河川の洪水に関する情報が掲載されています。

▶NHK ネットラジオらじる★らじる

インターネットでNHKのラジオ放送が聴けるアプリです。

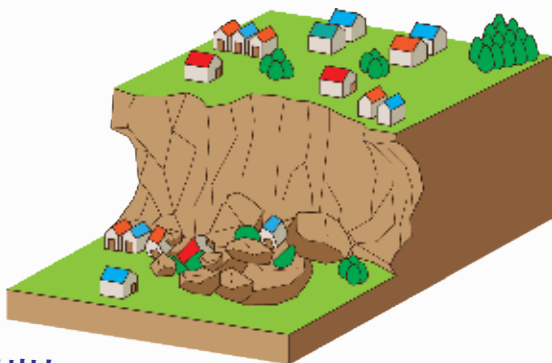
情報先	インターネットアクセス	入手できる情報
静岡県 / 土砂災害警戒情報 (PC、スマートフォン用)	https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/keikai/ 	土石流や急傾斜地の崩壊情報など
静岡県 / 河川砂防局 (PC、スマートフォン用)	 https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/index.html	浸水想定区域図 土砂災害情報マップ 土砂災害(特別)警戒区域の指定状況など
袋井市ホームページ	https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/ 	市内の様々な災害・防災情報など
袋井市ホームページ (スマートフォン用)	 http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/	
袋井市メローねっと	https://plus.sugumail.com/user/fukuroi/home 	気象情報、防災情報など

6. 大雨がもたらす災害

1 土砂災害

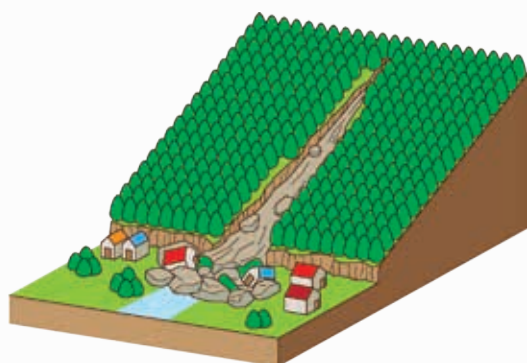
 **大雨の時、土砂災害にも注意が必要です。**

土砂災害の「前兆現象」は過去の経験から、現象が発生する直前に感じられるものとして知られていますが、実際には前兆現象がなく、がけ崩れなどの現象自体が発生している場合も多く、避難するための猶予はほとんどないものと考えてください。「様子がおかしいな」と感じたらただちに避難行動をとってください。雨が激しく降っていて、避難するとかえって危険と思われるときは、頑丈な建物の中であれば2階以上の斜面と離れた側の部屋に移動してください。



がけ崩れ

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ始めてから崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。



土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速 20～40 km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。移動する土塊の量が多いため、甚大な被害を及ぼします。袋井市内には、「地すべり」による指定区域はありません。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 土砂災害ハザードマップを確認しましょう ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

静岡県では土砂災害防止法に基づいて土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を指定しています。

「土砂災害危険箇所マップ」を選択すると、警戒区域が確認できます。

パソコンでは・・・

静岡県 土砂災害

検索

スマートフォンでは・・・



一日前プロジェクト

朝がたの小雨に油断 ～台風に比べ危機感少なく～

奄美市 70代 男性 地区役員

あの日は全く、大雨の予想はしていませんでした。朝がたは小雨だったものですから、家内と畑でも行こうと言っていたくらいです。台風だったらもっと危機感をもっているんですけどね。

それが午前 10 時を過ぎて急に猛烈な雨が降ってきて、集落の 80% 近くが海みたいになって、道路は冠水し、家も全部床上浸水になりました。これは大変よということで、ほとんどの方は公民館に避難してもらいました。

道路が冠水で通行止めですよとか、誰がどこに避難していますよといった情報を地元の FM が放送していましたが、停電でしたから電池式のラジオを持っている人以外は情報が入りませんし、昼間で停電に気づかず全く異常を感じていなかった人もいました。

実際、青年団が避難していないお年寄りの家に行ってみると、「部屋の畳が浮き上がってきて初めて気がついた」と言われました。そういう人たちは青年団の連中におんぶされて避難しました。

降り始めは小雨でしたから、まさかあんな大雨になるなんて、誰も思っていなかったのです。

出典：内閣府ホームページ「一日前プロジェクト 前線による大雨（平成 22 年 10 月）」より



一日前プロジェクト

住民みんなが顔見知り

～スムーズにいった避難行動～

三条市 60代 男性 市役所職員

私は三条市の中山間部にある世帯数 26 戸の小さな集落に暮らしています。毎冬、雪がかなり積もる以外は自然豊かでよいところ。近くに川が流れていますが底が深いので、これまで洪水など全く無縁と思って暮らしてきました。

しかし、2011 年 7 月 29 日は、雨の降り方が異常でした。ただならぬ気配を感じた私は、自治会長とともに集落内の見回りを始めました。避難勧告が出たのはその直後です。高齢者などは避難に時間がかかることを自覚しており、率先して避難準備を始めました。住民皆が顔見知り、だれが避難困難者なのかを互いに知っており、情報交換ができたのは小さな集落ならではの良かったと思います。作業も順序立てて、協力し合っ

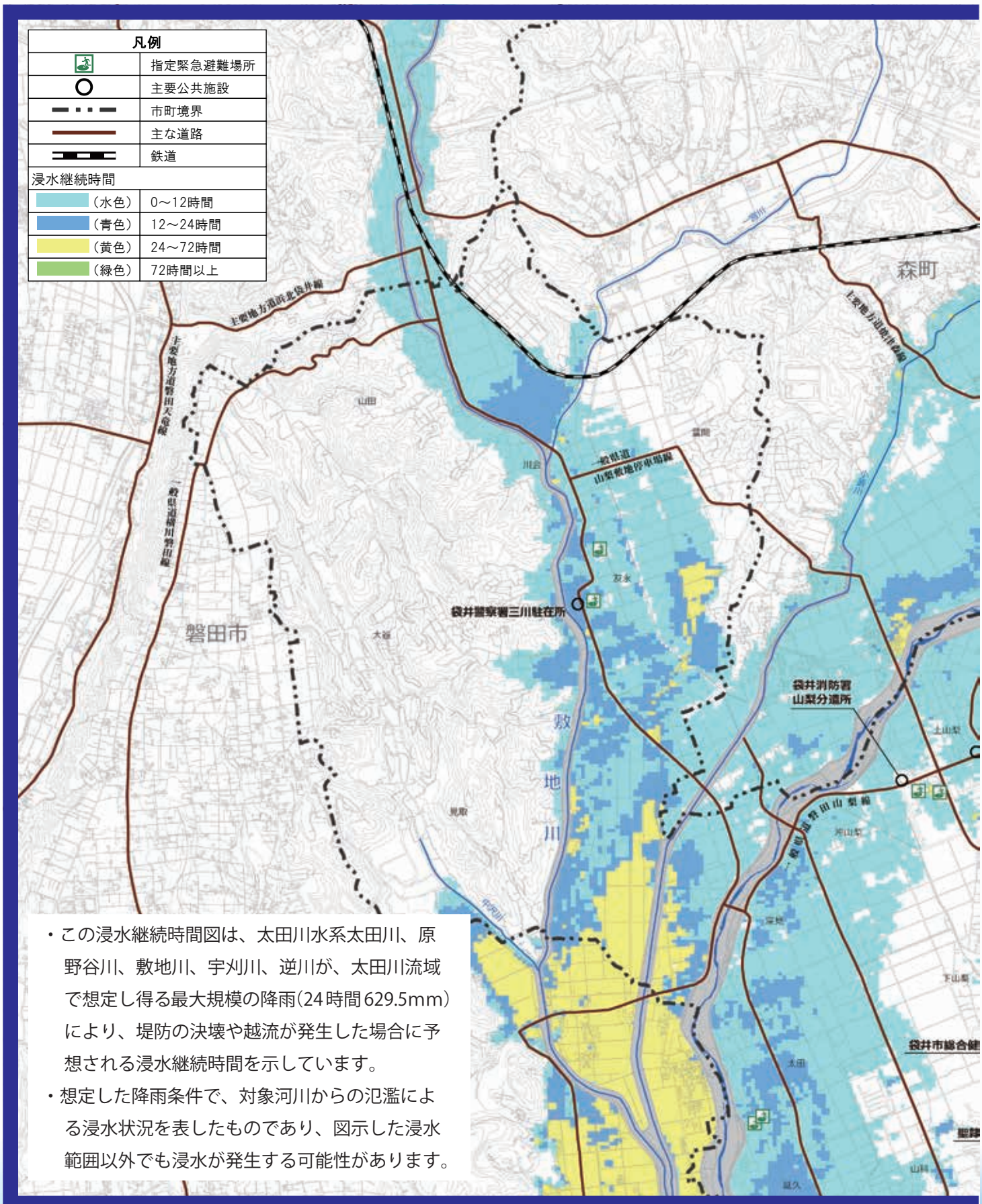
て行いました。三条市指定の避難所もあったのですが、私たちは集落の集会所を最終的な避難所に独自に指定しました。市指定の避難所は少し離れた場所にあるので、高齢者などのことを考えると移動は困難と判断したのです。

判断が速かったのも、避難後は余力のある者が力を合わせて、まず道路を確保し、交通整理を行いました。隣の集落に救出活動に出かける余裕もありました。これだけスムーズに行動ができたのは、日ごろの近所づきあいと統制のとれた自治会活動のたまものと思っています。

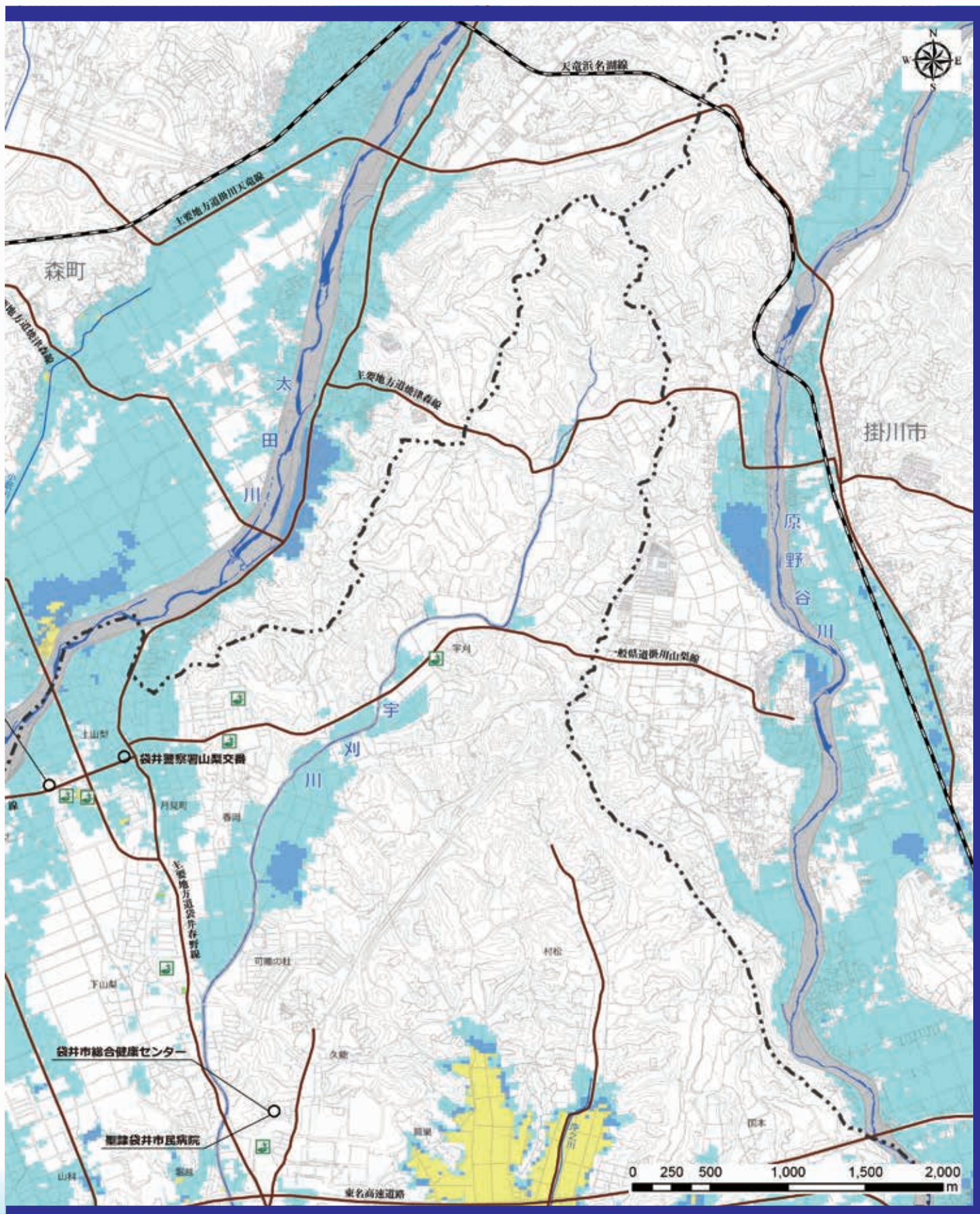
出典：内閣府ホームページ「一日前プロジェクト 三条市の豪雨（平成 16・23 年 7 月）」より

7. 浸水継続時間図【北部】

浸水時には停電や上下水道等が停止します。長時間そのような環境で生活することは困難です。屋内安全確保(垂直避難)の可否や事前の行動を考えましょう。緑色の区域(浸水継続時間 72 時間以上)は早期の立ち退き避難が必要な区域です。

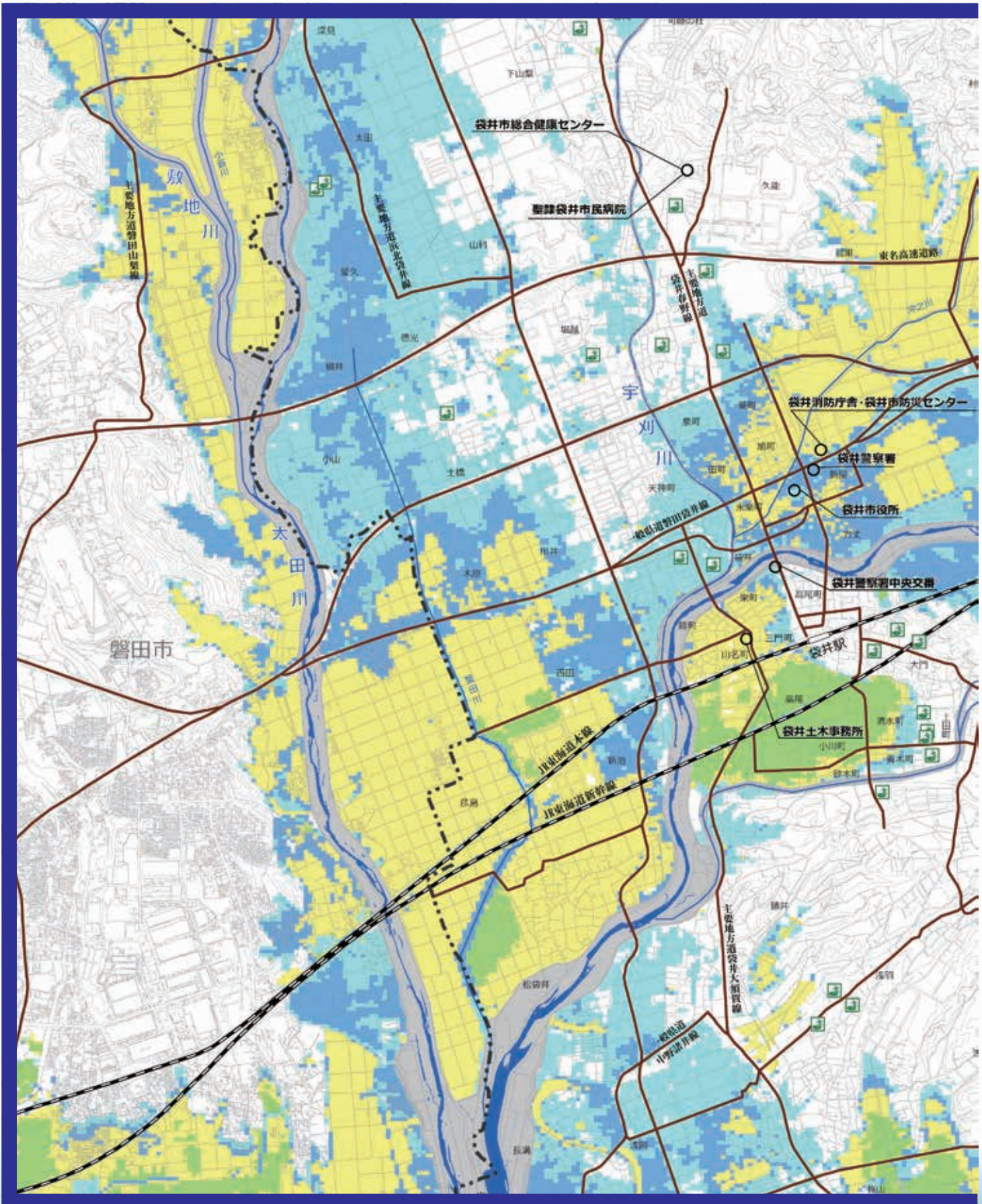


- この図は、浸水深が 50cm 以上となる時間を表したものです。
- 浸水が長期にわたると想定される地域では、取り残されてしまう恐れがあるため注意が必要です。

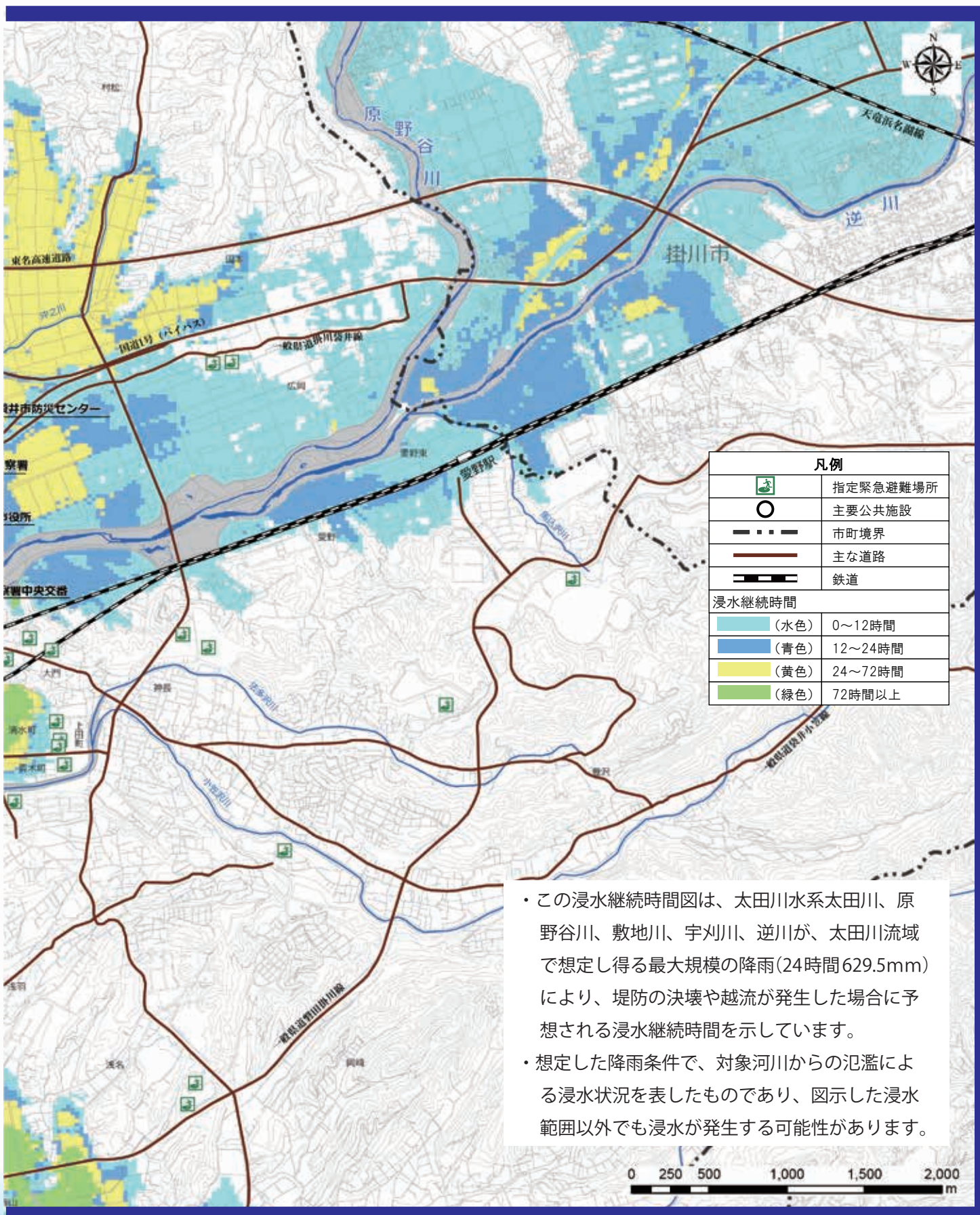


7. 浸水継続時間図【中部】

浸水時には停電や上下水道等が停止します。長時間そのような環境で生活することは困難です。屋内安全確保(垂直避難)の可否や事前の行動を考えましょう。緑色の区域(浸水継続時間 72 時間以上)は早期の立ち退き避難が必要な区域です。



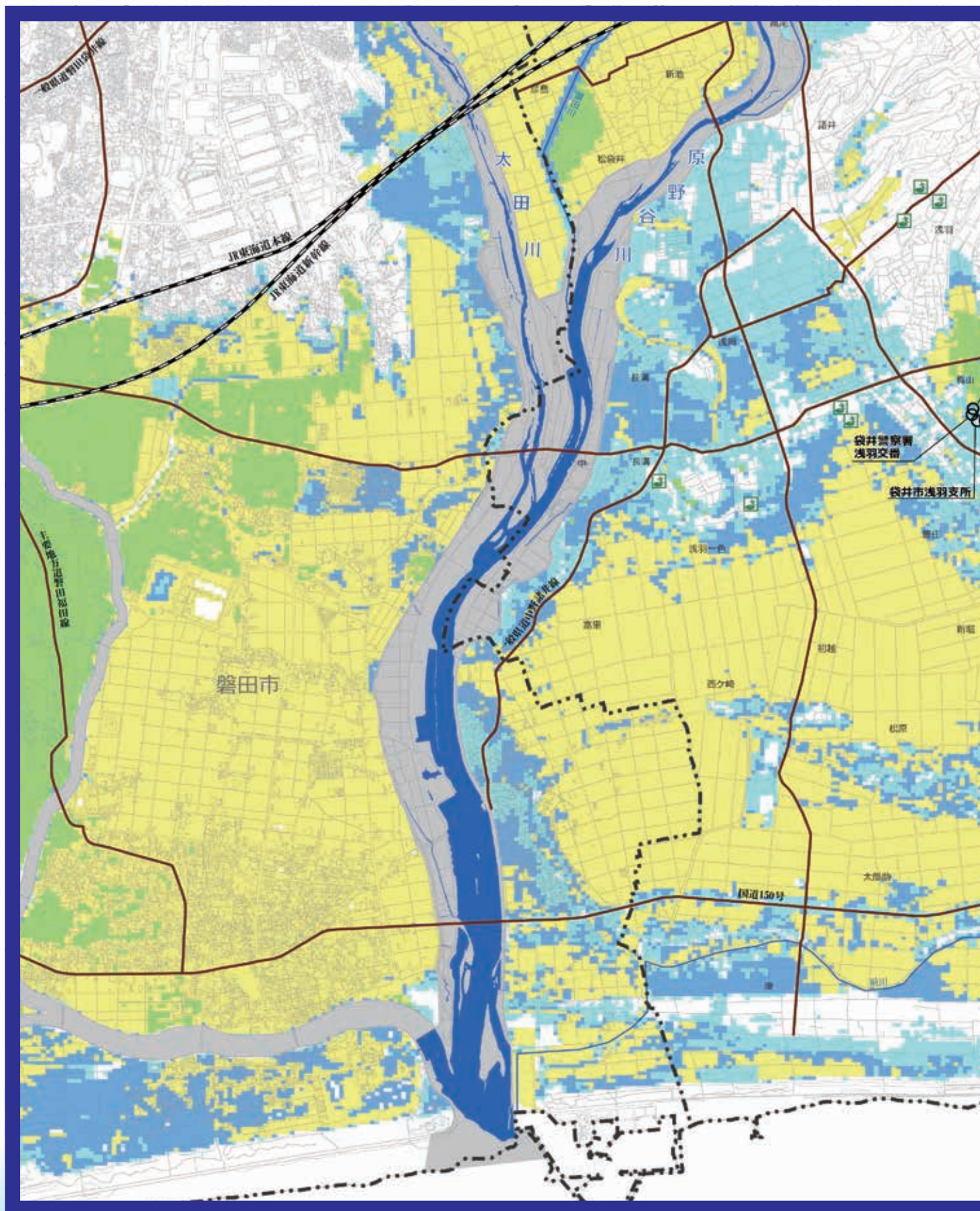
- この図は、浸水深が 50cm 以上となる時間を表したものです。
- 浸水が長期にわたると想定される地域では、取り残されてしまう恐れがあるため注意が必要です。



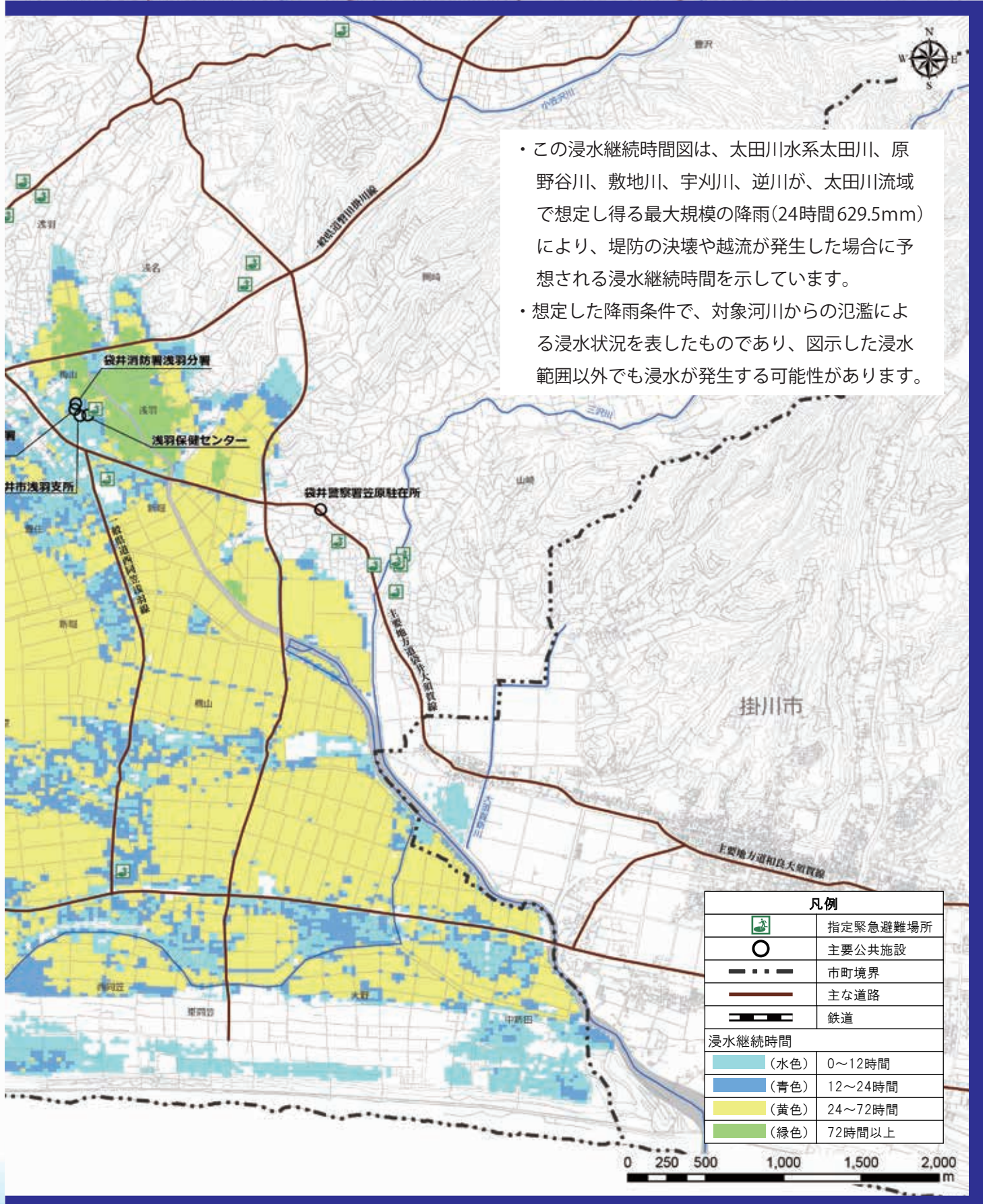
- この浸水継続時間図は、太田川水系太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川が、太田川流域で想定し得る最大規模の降雨(24時間629.5mm)により、堤防の決壊や越流が発生した場合に予想される浸水継続時間を示しています。
- 想定した降雨条件で、対象河川からの氾濫による浸水状況を表したものであり、図示した浸水範囲以外でも浸水が発生する可能性があります。

7. 浸水継続時間図【南部】

浸水時には停電や上下水道等が停止します。長時間そのような環境で生活することは困難です。屋内安全確保(垂直避難)の可否や事前の行動を考えましょう。緑色の区域(浸水継続時間 72 時間以上)は早期の立ち退き避難が必要な区域です。



- この図は、浸水深が 50cm 以上となる時間を表したものです。
- 浸水が長期にわたると想定される地域では、取り残されてしまう恐れがあるため注意が必要です。





8. 水位・雨量観測地点

 雨量や河川水位は、インターネットやスマートフォンで確認できます。

市内を流れる太田川、敷地川、原野谷川など多くの河川は、市外に広い流域を有しています。

市内の降雨量が多くなっても、上流の山地で大雨が降ると洪水となって袋井市内に影響を与えることがあるので、広い範囲の雨量や水位の情報に注意しましょう。

-  水位観測所
-  雨量観測所



 雨量や河川水位は、静岡県「SIPOS レーダー」で確認できます。



気になる水位や雨量の観測個所をクリックすると、現時点の観測値や過去の変化を見ることができます。

また、県の水位観測所では、避難判断の目安となる氾濫危険水位、避難判断水位が設定されている地点があります。水位の変化に注意して避難行動の参考にしましょう。

河川流域	観測所名	所在地	氾濫危険水位 (cm)	避難判断水位 (cm)
太田川 (上流)	天方 (県)	周智郡森町森	280	240
太田川 (中流)	新貝 (県)	磐田市新貝	460	430
太田川 (下流)	豊浜 (県)	磐田市豊浜	—	—
敷地川	笠梅橋 (県)	磐田市笠梅	584	540
宇刈川	横手橋 (県)	袋井市久能	320	280
原野谷川	山名 (県)	袋井市袋井	700	650
逆川	金城橋 (県)	掛川市金城	490	450
逆川	細田 (県)	掛川市細田	610	520
弁財天川	昭和 water gate (県)	袋井市中新田	—	—

8. 水位・雨量観測地点

 土砂災害情報は「静岡県地理情報システム」で確認できます。

静岡県地理情報システム

検索 

【土砂災害警戒情報について】

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町長が避難勧告等を発表する際の判断や住民の自主避難の参考となるように静岡県と静岡地方気象台が共同で発表する防災情報で、原則市町単位で発表されます。このサイトは、土砂災害が降雨を引き金として発生することが多いために、土砂災害警戒情報を補足する情報として、1 km メッシュにおける危険度、降雨量や土砂災害警戒情報の発表状況、土砂災害危険箇所が把握できます。



この部分をクリックすると土砂災害情報マップを選択できます。

気になる地域をクリックすると、概ね1km四方の区域毎に土砂災害の危険度を見ることができます。

降水量

■ 80 mm 以上	■ 32 mm 未満
■ 80 mm 未満	■ 16 mm 未満
■ 64 mm 未満	□ 0 mm



ライブカメラ

 ライブカメラ設置場所

土砂災害危険箇所



雨量計設置場所

-  雨量観測所(県施設)
-  雨量観測所(国交省・気象庁)

9. 雨の強さと降り方

天気予報などで、雨の降り方を「激しい雨」「非常に激しい雨」などと表現されます。

雨の強さの表現と雨量の目安は、下表のように分類されていますので、これを活用して防災気象情報をより身近なものにしてください。

雨の強さの表現	雨量の目安	雨の降り方の様子	イメージ
やや強い雨	1 時間に 10～20mm	ザーザーと降る雨で、地面からの跳ね返りで足元が濡れます。	
強い雨	1 時間に 20～30mm	どしゃ降りの雨で、傘をさしていても濡れてしまいます。	
激しい雨	1 時間に 30～50mm	バケツをひっくり返したように降る雨で、道路が川のようになります。	
非常に激しい雨	1 時間に 50～80mm	滝のようにゴーゴーと降り続く雨で、傘は全く役に立たなくなります。	
猛烈な雨	1 時間に 80mm～	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨です。	

「1 時間に 50mm の雨」ってどんな雨？

1 時間に 50 ミリメートル以上の非常に激しい雨が降る恐れがあります。



「1 時間に 50mm の雨」とは、雨水が別の場所に流れず、そのまま溜まる状態で、「1 時間に雨水が 50 ミリメートル (=5 cm) の高さまで溜まる」規模の雨です。

たった 5cm と思われるかもしれませんが、この雨が広い範囲に降ると、雨の排水経路である河川や水路の許容能力を超え、洪水となります。



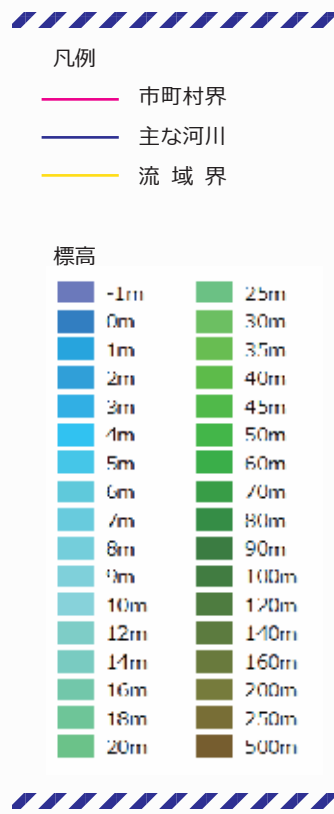
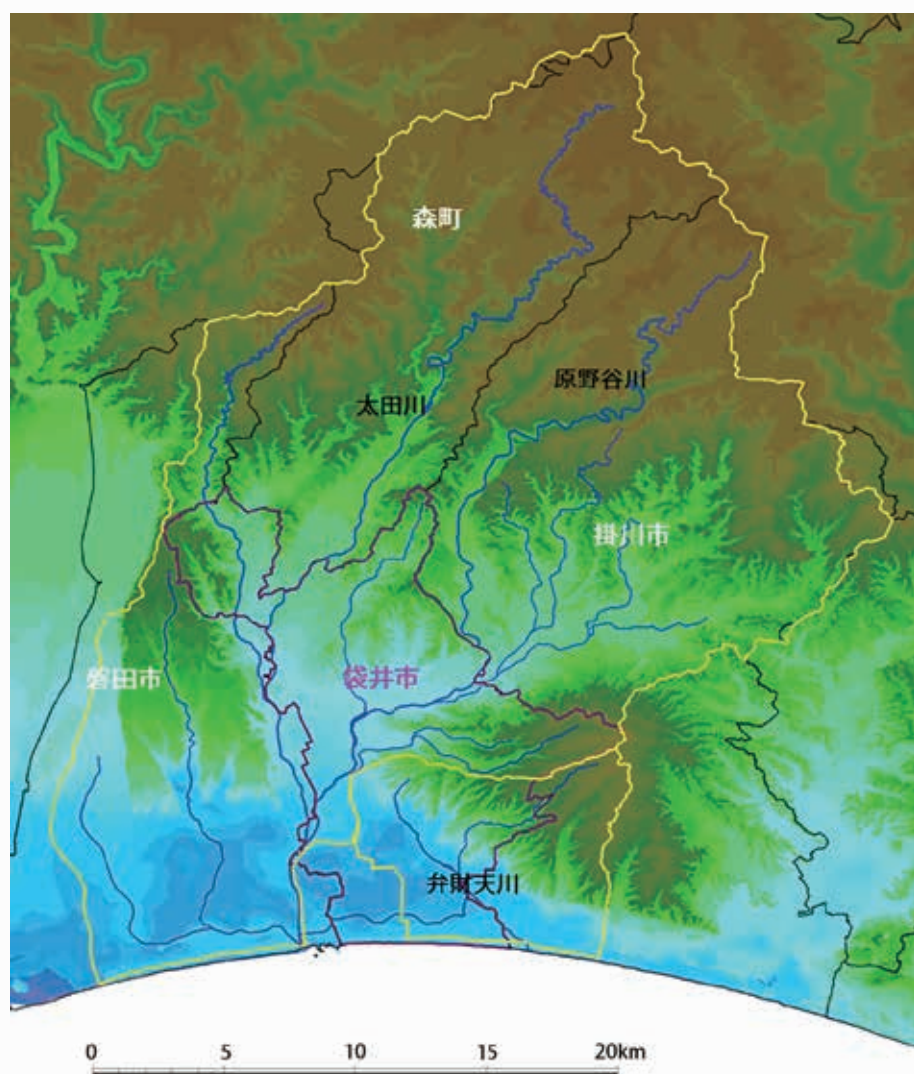
水害レポート 2010 より

このページのイラストは気象庁のリーフレット「雨と風」より引用しています。

10. 袋井市の地形と災害特性

袋井市は、東は掛川市、西は磐田市、北は周智郡森町、南は遠州灘（太平洋）に接し、その地形は、市の中央を東西に流れる原野谷川や、西部地域を南北に流れる太田川に沿って発達した沖積平野が多くを占め、全体に平坦な地形です。このため、台風に伴う暴風雨、低気圧・前線に伴う集中豪雨及び冬の季節風による強風の影響を受けやすい地域です。袋井市域の北中部は、太田川流域に含まれ、海側の南部は弁財天川等の流域に含まれます。袋井市内を流れる河川の水位は、市外の太田川や原野谷川、敷地川などの上流域で降った雨量が大きく影響します。

低平地の多い袋井市は、堤防の決壊などによって大規模な浸水被害が発生する危険性や排水が困難なことによる浸水などが発生する危険性を有しています。



袋井市の諸元
(平成31年1月1日時点)

面積：108.33 km²
人口：88,234人
世帯数：34,370世帯

袋井市の過去の浸水被害の写真



昭和49年7月洪水(七夕豪雨) 今井地区



昭和49年7月洪水(七夕豪雨)



昭和51年7月洪水



平成3年9月洪水 袋井東地区



平成10年9月洪水



平成16年11月洪水 袋井東地区

その他の県の過去の浸水被害の写真



平成26年8月(広島市豪雨土砂災害)
広島市阿佐南区緑井



平成26年8月(広島市豪雨土砂災害)
広島市阿佐北区可部町



平成27年9月(関東・東北豪雨)
常総市三坂町



平成29年7月(北九州北部豪雨)
福岡県朝倉市



平成29年10月(台風21号)
和歌山県紀の川市



平成29年10月(台風21号)
和歌山県紀の川市

(国土交通省水害レポート2014～2018より)



2019年3月

袋井市洪水ハザードマップについてのお問い合わせ先

浸水想定に関すること

袋井市都市建設部建設課

袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL 0538-44-3166 (治水対策室) / 0538-44-3130 (管理係)

避難に関すること

袋井市危機管理部危機管理課

袋井市国本2907番地

TEL 0538-86-3701